

「持ち込んでしまったケータイ（ケータイ使用のエチケット）」

情報モラルの意識付け☆☆★★★

機器導入効果・必要性☆☆★★★

道徳的価値の関連性☆☆☆☆★

指導内容 ● 1 - (5) 反省と向上, 個性の尊重

関連する指導内容 ● 4 - (4) 正義, 公正公平, 差別・偏見の克服

主題設定の理由

◆**ねらいとする価値** 自分を振り返り, 自らの失敗についての忠告や助言を謙虚に受け入れ, 正すべき所を正して, 自己を高めようとする意欲や意識を自らの内に育てていく大切さに気づかせる。

◆**生徒の実態** 中学生になり, 携帯を持つ生徒も増えている。他との関わりが増えるなかで, 楽な方向に流れ, 独善的になりがちで, 自分を振り返ることを厭うようになることも少なくない。他からの忠告や, 真摯に反省する態度を身につけさせ, さらに自らの良さをのばしていこうとする態度を育てたい。

ねらい 学校での生活やけじめを意識させながら, 自分の行動について振り返らせ, 誠実な対応や反省が, 自身を高めていくということに気づかせる。

資料の特質と指導の工夫

◆**資料の特質** アヤはどこにでもいる中学生。うっかりしていて, 禁じられているケータイをもってきってしまう。タカアキが疑われどこか気持ちにわだかまりが残る。ネット社会によって生じる生活の乱れを認識させると共に, 問題を起こしたときの誠実な行動について考えさせたい。

◆**指導の工夫** 子どもたちの生活の中にも深く関わりつつある携帯電話。しかし, 家での生活や, 学校でのけじめのもと使用する必要がある。「はまって」しまう傾向があり, 便利なことの裏返しに, 生活に与える影響が大きい。中学生がすべきこと, 人との行動でしなければならないことは従来と変わらないことを理解させたい。

参考

◆**出展** 米山中学校教諭 及川政彦 自作

展開例

●学習活動（主な発問と予想される生徒の反応）	●指導上の留意点
①学校にいろいろなものを持ち込んで, しまった経験を話し合う ●学校に持ってきてだめなものは何だろう。 ○遊ぶもの。 ○学校生活で必要のないもの ○学校でだめだと言われているもの。	○臆せず, 発表できる雰囲気作りを心がける。
②「持ち込んでしまったケータイ」を読んで話し合う。 ●アヤは最後どのようなことを書いたと思いますか。 ○わたしがしましたすみません。 ○タカアキ君は悪くありません。 ○やっぱり書かないと思う。	○どうすべきか, 考えさせた後, 自分が, なぜそのように書いたか真剣に振り替えさせる。
③携帯電話を持った場合の自分の生活について話し合う。 ●普段の生活の中で気をつけるべきことは何か? ○けじめを付けて使用する。 ○学校の生活が基本であり, 影響がないようにする。	●携帯が身近にある生活についてしっかり考えさせる。